

JUMP 4

2019
A P R



元気企業
訪問
ミテジマ化学
株式会社

県の産業立地条例を活用し 淡路島に新工場を設立

- P5 活性化センター・カレンダー
- P6 支援ネットのひろば
 - 情報カレンダー
 - 兵庫県信用保証協会かわら版
地域活性化保証「スタートラインS」のご案内
 - 孫の疑問に答える
博學ご隠居の技術談義
放電加工～硬い金属を
雷パワーで楽々加工～
- P9 Tax&Law
平成30年度税制改正8
—特例事業承継税制に
ついて—
- P10 成長期待企業のイチオシ!
株式会社金岡光輝園
3Dスキャナー・ドローン測量

今月の支援メニュー ひょうご・神戸投資 サポートセンター

兵庫県内への進出・移転を検討している企業に、県の産業団地や工場適地などの情報を提供。関係機関への取り次ぎをワンストップで行っている。

ひょうご・神戸投資サポートセンターは産業団地等の紹介、行政窓口等への取り次ぎやコーディネートなど、総合窓口として県内における企業立地を支援しています。大阪市に本社を置くミテジマ化学株式会社はこのほど、サポートセンターの紹介で、淡路市内の県企業庁の用地1畝を取得し、2018年7月から木材用難燃剤を生産する新工場を稼働させています。





兵庫県マスコット ぽぽたん

ひょうご産業活性化センターの設備貸与[割賦販売／リース]制度

設備投資を 応援します



【コストダウン】【受注拡大】【品質向上】etc.

設備貸与制度の3つのメリット

メリット1

長期・低利・固定

0.70%~
(割賦)

メリット2

100万円から
ご利用可能
(最大1億円まで)

メリット3

**連帯保証人
/担保不要**
(原則)

公益財団法人ひょうご産業活性化センター 設備投資支援室

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
神戸市産業振興センター7階



(078) 977-9086

FAX 078-977-9102

元気企業
訪問

ミテジマ化学
株式会社

多様な分野で用いる 化学製品を製造・販売 淡路島工場に将来を託し 世界一のメーカーを目指す

競争力の高い製品を国内外で提供

同社は1952年の設立以来、重合リン酸塩を中心とする化学製品を製造・販売しています。水産加工品や惣菜の日持ち向上剤、ハム・ソーセージ等の結着剤、飲料の退色防止剤といった食品添加物分野、染色助剤を主体とする繊維分野、難燃剤などの木材加工分野、さらに歯磨き粉成分や増毛剤成分といったヘルスケア分野など、多彩な分野で使われています。

かつては下請けメーカーに徹していたこともあり、業績は後退傾向にあったといいます。2010年に三菱商事株式会社から移り、社長になった末常裕治さんは、旧態依然とした企業体質の改革に着手し、収益改善、そして成長を見据えた施策を次々に打っていました。

以前は原材料の仕入れ、販売ともに問屋を通じて行っていたが、中

国・上海に事務所を開設し、原料を直接仕入れる体制を構築することでコスト削減に努める一方、直接販売する先も開拓。また、設備機械についても国産から中国製に切り替え、コスト競争力を強化しました。さらに研究開発機能を強化し、研究員を増員するとともに外部からの知見を取り入れるべく、大学や研究機関との連携を図りました。3年前には、オランダ・アムステルダムにも事務所を設け、新分野開拓に向けた原料素材・技術を導入し、新商品の開発にも注力しています。「一番ハードルが高かったのは海外の企業や大手企業にもひるむことなく交渉する意識改革でしたが、ようやく浸透してきました」と、末常社長は手応えを感じています。

こうした取り組みの結果、重合リン酸塩関連の製品が多様化。木材加工やヘルスケア、繊維分野向けに用途が広がっているほか、重合リン酸塩と一緒に使われる結着酵素、食塩に含まれるカリウムの苦みを消す天然素材など重合リン酸塩以外の食品添加物の扱いが増加し、売り上げも2010

年の17億円から現在は21億円にまで増えています。

「温暖で食べ物がおいしいこと」が立地の鉄則

扱う製品が多様化してきたことで大阪市にある本社工場は手狭になり、周辺の宅地化が次第に進み土地の活用にも制約がありました。そこで、3年前から新たな工場用地取得の検討を開始しました。当初は東日本の取引先を開拓する目的もあり静岡県で探していたのですが、ひょうご・神戸投資サポートセンターの紹介で、淡路市佐野の兵庫県企業庁の用地を見学し、一目で気に入ったといいます。「海岸沿いにヤシの木が並ぶ明るい町の様子はフランスのリゾート地、ニースを思わせました。大阪の本社から車で1時間。技術的な対応が必要なきもすぐに駆け付けられるアクセスの良さも魅力でした」と末常社長。当初は0.5%の取得を考えていましたが、好条件で1%の提示があり受け入れました。まずは0.2%分の土地に工場を建設し、木材用難燃剤の製造を開始しています。

三菱商事時代に多くの海外プロジェクトに携わった末常社長は「企業立地は気候がよく、食べ物のおいしい土地にするのが重要」という持論があり



淡路市佐野に新設した淡路島工場

